

# あわ い 栗井地区

人口:6,838人(高齢化率36.4%)  
世帯数:3,102世帯

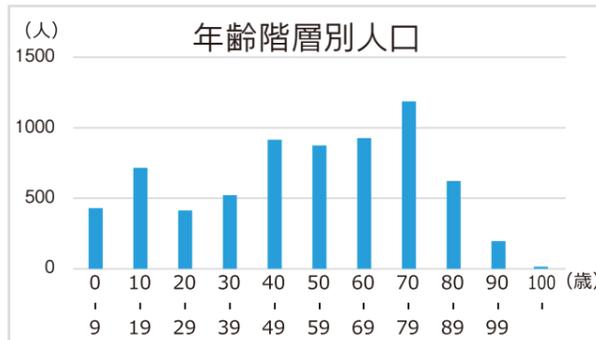


## 【地区の特色】

栗井地区は、農村地域と団地新興住宅地域の存在する地区であり、主に東部南部を中心に農業が営まれており、新興地域は市内への通勤者が多くを占めている。地区内には23地区の集会所があり、互いの連帯が図られた活動を通し地域づくりを推進している。



桜の山(宅並山)から眺める栗井



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援が充実 ・各種団体と地域の連携がうまくできている</li> <li>登下校の見守りがある(ボランティア) ・児童クラブと放課後子ども教室がある</li> <li>ふれあいマーケット&amp;スマイルタウン(子ども主体のお店屋さん)</li> <li>グランドゴルフが盛ん ・ふれあい・いきいきサロン、地域交流サロンの活動が活発</li> <li>地域のボランティアで宅並山の管理をしている ・小中学生が挨拶をよくする</li> <li>公民館でのサークル活動や地区行事などの活動が盛ん ・災害が少ない</li> <li>障がい者の働く場所がある(かなさんどう) ・自然(山、海)が豊かで静かな地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時、避難時の人手に不安あり</li> <li>避難所が遠い</li> <li>新しい役員のなり手がいない</li> <li>地域活動に新しい若年層の参加が少ない</li> <li>自家用車がないと生活しにくい</li> <li>近くにスーパーやコンビニがない所が多い</li> <li>空き家が増加している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山間部の高齢者世帯の増加</li> <li>ゴミ出しや買物など、生活課題を抱えた世帯が増えている</li> <li>コロナ禍の自粛で、認知症の症状がある人が増加</li> <li>高齢化により農業をやめる人が増え、荒れ地が増えている</li> <li>山間部では、土砂崩れなど災害時不安</li> <li>地域行事等の参加者が固定化しているため、地域の絆が希薄になっている</li> <li>コロナ禍で中止になった行事等が元に戻るか不安</li> </ul>

## 栗井地区社会福祉協議会

やすらぎと 愛の泉の 栗井郷

構成団体	地区民協・自治会・健全育成推進協議会・PTA・日赤奉仕団・自主防災連合会 小学校・中学校・公民館・愛護班連絡協議会・高齢クラブ・児童クラブ ふれあいクラブ・消防分団・ボランティア団体
------	---

主な取り組み	活動内容
男性料理教室	地区内の男性を対象に講師の指導で料理を作り、一緒に食事をしながら交流を図っています。
いきいき健康教室	毎年、地域の人を対象に健康や福祉に関する身近な問題を取り上げ、講演会等を開催しています。
自主活動グループ	囲碁将棋交流会やマージャン愛好会など、同じ趣味を持つ人が集い、楽しみながら交流を図っています。

### 卒業生との鯛めしづくりの会

毎年、栗井小学校6年生の児童と地域の人と一緒に卒業祝い  
の鯛めしづくりをしています。鯛めしは北条の郷土料理で身近  
な料理ですが、「自分達で作ると時間もかかり、火加減が難し  
い。家で手伝いたい。」などと家族や地域の人に感謝をしながら  
調理を通して交流を図っています。



### <地区社協が目指すもの>

少子高齢化・核家族化が進み、高齢者だけの世帯や身近に親族のいない世帯が増加してきている  
中、栗井地区社協では実施事業の一つ一つはたとえささやかであったとしても、次のような願いを精  
一杯込めて活動したいと考えています。

- ①諸事業を通じて人と人の出逢いを増やし、人と人の繋がりの輪が広がってほしいです。
- ②全ての人々が住み慣れたこの栗井地区で最期まで健康に幸せに過ごしてほしいです。

地区の状況	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	
	民生委員	11名	■高齢クラブ	22団体
主任児童委員	2名	■子ども会	1クラブ	
■まち協の設立	—	■自主防災組織	0団体	
			21組織	

山や海など豊かな自然を生かした新たな住宅団地が増えるとともに、子育て世代の住  
民が増加傾向にあります。その一方で、山間部の高齢者世帯が増加し空き家や休耕地が  
増えている課題を抱えています。しかしながら「卒業生との鯛めしづくりの会」や「男性料  
理教室」などは、食を通じた参加者同士の交流の活性化を目指すだけでなく、郷土料理を  
用いることで、地域の文化・風習を体感する経験を参加者で共有し親睦を深めています。  
また「いきいき健康教室」の開催は、特に独居高齢者らが参加することで社会的な繋がり  
をもち、精神的健康、身体的健康、健康習慣の獲得にもつながり健康寿命の伸長にも反映  
されることでしょう。

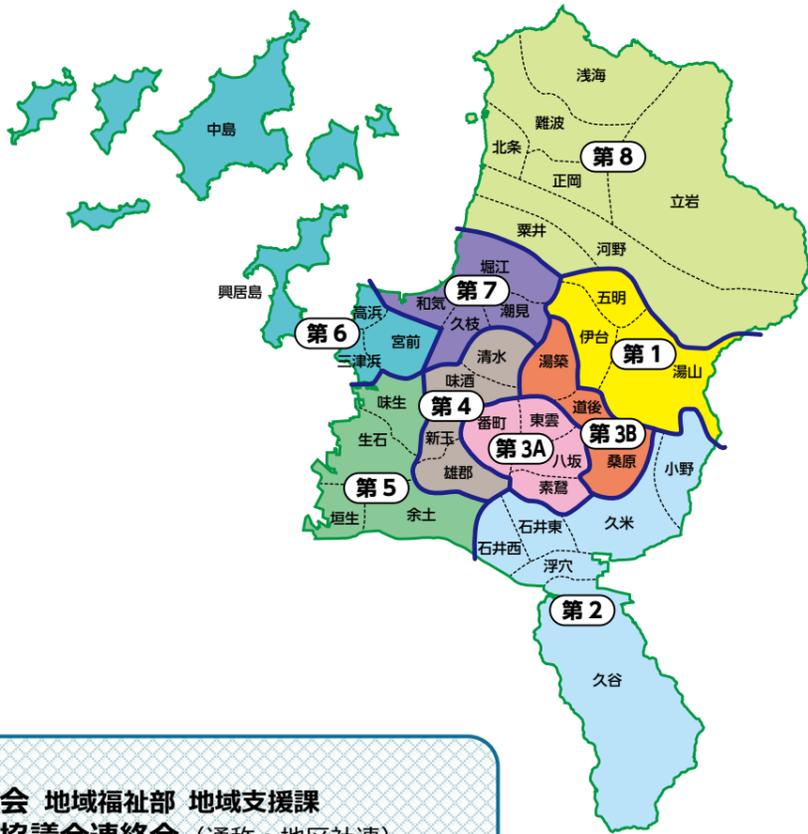


# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	八坂地区		新玉地区		新玉地区
	東雲地区		清水地区		清水地区
	素鷲地区		味酒地区		味酒地区
第3 B	道後地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	湯築地区		新玉地区		新玉地区
	桑原地区		清水地区		清水地区
第4	雄郡地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	新玉地区		新玉地区		新玉地区
	清水地区		清水地区		清水地区
第5	余土地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	垣生地区		新玉地区		新玉地区
	生石地区		清水地区		清水地区
第5	味生地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
			新玉地区		新玉地区



**発行日** 令和6年4月  
**発行** 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）  
 〒790-0808 松山市若草町8番地2  
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>  
**作成** 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

## <『地域カルテ』の見方>

**①地区の概要**

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と豊富な湿度がある立地条件を生かし、古くから心とう栽培に誇りを持っている。また、五明太郎などの「五明太郎」が自然発生の「五明川が流れており、清流に親愛されている。

人口：426人(高齢化率48.8%)  
世帯数：225世帯

**②地域住民からみた地域の状況**

高齢者が多く、この地域が把握できる一家庭内の事情がある程度わかっている。個人で生活する中、物価の値上げや、移動サービスが来るまでの移動、通学時間は遅くも20-30分で市内中心部へ行く。自然が豊かで季節を感じることができる。食への関心(コンド)が強い。自主防災と連携し、災害時の避難の仕組みを作っている。集会所が利用できる。田舎暮らしなど地域の子どもの交流。

**③地区社協の概要と取り組み**

五明地区社協は、高齢者をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、奉仕活動、まちづくり、健康講座、地域運動会、しめ縄づくり、もちつき、ふるさとまつりなどの地域行事と連携した地域活動の実施を基本方針としている。今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の発信を目標としていくものとする。

**④地区内関係団体データ**

地区民協、まち協の設立、町内会等、高齢クラブ、子ども会、自主防災組織の現状を記載している。

**⑤地域福祉推進のポイント**

聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

- ①地区の概要**
  - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
  - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況**
  - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み**
  - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ**

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）
- ⑤地域福祉推進のポイント**
  - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
  - 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏